

おじい様やおばあ様のお誕生日の日に、「還暦」とか「古希」とかいった言葉を聞いたことはありませんか。

「還暦」は、満六十歳のお祝い。「古希」は、七十歳のお祝いです。同じように長生きのお祝いに「喜寿」(きじゅ)があります。

喜寿の「喜」は、五年生で習う字です。さて、何歳のお祝い？と、聞いても、ヒント無しではキツイでしょう。「喜」の字、異字体と言って、別な書き方があります。それが、これ。

「崑」。何となく分かりそうでしょう。そう、ピンポン。七十七歳のお祝い。

では、「傘寿」(さんじゅ)。傘寿の「傘」は、中学校で習う「かさ」という字です。「アブレラ」の傘です。さて、何歳のお祝いでしょう。この字をよく見るとヒントになっていますね。そう、八十歳のお祝いですね。では次。「米寿」(べいじゅ)。これは何

歳でしょう。勘のいい人は、八十歳より上で、「米」の字に何か意味が隠されているに違いないと思っただけではありませんか。素晴らしい。その通り。「米」の字、点をはがして、向きを変え、点をはがして向きを変えろと…。

そう、八十八歳のお祝いですね。次は、「卒寿」(そつじゅ)。これも異字体を知っていると簡単。卒寿の「卒」は、卒業式の「卒」で、四年生で習う字ですが、異字体は「卒」。もう、誰が何と言っても九十歳以外は考えられない字ですね。

まだまだあります。これは頓知クイズみたい。「白寿」(はくじゅ)。色々な意見が出ているようですなあ。これは、「百」にひとつの棒が足りない「白」だから、百―で九十九歳のお祝いです。「百寿」は、そのものズバリ、百歳のお祝い。

まだあります。もう、飽きた？こうなったら、行きがかり上、全部やってしましましょう。ヒントだけ言いますので、あとは自分で考えてみてください。

「茶寿」(ちやじゅ)。草かんむりの下の部分は、もう分かるでしょう。草かんむりを、十が二つとみると…。おまけに「皇寿」(こうじゅ)。「白」はいくつを表していたか、「白寿」のところでもやりましたね。それに、一と十を一を足すと…。最後は、「大還暦」。還暦は満六十歳のことでした。それが二つ分。

復習です。米寿の「米」はいくつを表しますか。そう、八十八でした。米という字は分解すると八十八という文字になるように、米を育てて食べられるようにするまでに、八十八の手間がかかると言われています。

本日、五年生は高崎の学校田に田植えに出かけているはずでしたが、緊急事態宣言の延長により、今年も出発できず…。

その代わりに今年も、友松さんとRSK(立教小学校協会の)メンバーの方が、田植えをしてくださることになりました。昨年は田

植えもやっていたいただき、夏の酷暑の中、雑草取りや水の管理をしていただき、稲刈りだけは参加して、お米をどっさり送っていただきました。なんとも虫のいい話なのですが、今年も甘えさせていただくことになりました。友松さんとRSKの約三十名の皆様は今頃、ご自分の田んぼと、学校田の田植えの準備に大わらわだと思えます。有難いことです。

そういえば友松さんやRSKの方々は、今年おいしくつにされるのでしょうか。五年生諸君、九月に稲刈りに行ったならば(何としても行かなくてはなりません!)おいしくつにされたのか、伺ってきてくださいな。

群馬県高崎市の立教小学校学校田は、二〇一五年、在校生保護者のご協力と高崎市農政部・農林課のバックアップを頂き、高崎市上毛野(かみつけの)はにわの里公園のすぐ近くに誕生しました。これにより、古墳が三基もある公園の隣の水田で田植え・稲刈り体験ができるようになりました。

以来、友松さんとRSKの皆様が稲の生長を見守り管理を続けてくださっているお陰で、五年生が刈り取った新米を毎年七俵(四二十キロ)もお送りいただき、三回に分けて、全校生が給食で頂いています。また、とれたお米と友松さんのもち米を交換していただき、そのもち米で、五年生は餅つきもしています。

(立教小学校校長 田代 正行)